



わたしを遣わしてください



I NOW SEND YOU
HERE AM I SEND ME



I NOW SEND YOU
HERE AM I SEND ME

信仰を持って生きようとする人、自分の人生に真剣に向き合うすべての人が、
答えなければならない問いが、聖書に書かれています。

「主よ、わたしは何をしたらよいでしょうか」使徒行伝 22:10
“ Lord, what shall I do ? ” Acts 22:10

この問いに対する答えが、あなたの「ミッション」です。

三育学院カレッジは、あなたとミッションをつなぎ、世界に送り出す学校です。

さあ、与えられたミッションと出会う旅へ。

人生は、与えられたミッションを知る時、動き始める。

Life truly begins when you discover the mission meant for you.

CONTENTS

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 03 在校生座談会 | 19 東京実習プログラム |
| 07 ミッションに向けて成長できる場所 | 20 全人教育 HE プログラム |
| 09 ミッションフィールドは世界 | 21 ミッション探しの旅を導く神学の学び |
| 11 キャンパスで培う伝道スピリット | 22 学納金 / 奨学金 |
| 13 神様の愛の温かさを介護の現場へ | 23 三育学院の歴史 |
| 15 世界がキャンパス | 24 校長メッセージ |
| 17 OB / OG's Voice | 25 ディプロマ・ポリシー |
| 18 2つの専攻 / カリキュラム | 26 アドミッション・ポリシー / 入試情報 |



増田 皓生さん
MASUDA Koki
神学専攻3年生

アキノ ローランドさん
Roland Aquino III
神学専攻4年生

カシズ シンさん
FU Zhen
神学専攻3年生

人生の岐路で神様と出会う場所

神学科入学前の理由・きっかけ

一皆さんが神学科への入学を決意された理由やきっかけを教えてください。

アキノ：僕は地元の教会での聖書研究会がきっかけでした。青年たちとみんなで聖書を調べたり、教えたりする機会が与えられる中で、聖書や神様にどんどん興味が湧いてきて「もっと学びたい」という思いで入学を決めました。

カシズ：私の場合は、最初に神様と出会った時に「献身したい」という思いが生まれました。東京華人教会の牧師からこの学校を紹介され

たのですが、それだけではなく、当時信仰のなかった父が、私が神学科へ進むことを支持してくれたことは、神様が与えてくださったしるしだと思いました。

増田：僕は一時期、信仰から離れて放蕩していた時期があったのですが、そんな時、イザヤ書の「私は荒野に道を敷く」という聖句と出会いました。「自分には神様が用意してくれた道があるはずだ」と強く感じていたところにカレッジの先生にお会いしました。祈りつつ考えていく中で「ここだよ」って神様が示してくださっているんだと、パズルのピースがつながるような確信があり、入学を決意し

ました。

入学前の印象・入学後のギャップ

ー入学前と後で、神学科に抱いていた印象にギャップはありましたか？

アキノ：入学前は「神学科＝勉強、勉強、勉強！」というイメージでした。でも実際は、講義はもちろんしっかりとあるのですが、人との交流の機会が本当に多くありました。お互いの信仰や価値観に触れて刺激し合う、想像していたよりもずっと豊かな経験ができる場所でした。

増田：実は、僕は入学の二か月前に進学を決めたので、事前情報はほとんどありませんでした（笑）。入って驚いたのは自然の美しさと、教員との距離の近さです。小中高と公立だったので、先生というのは遠い隔絶された存在というイメージでした。でも、この先生方は僕たちの悩みや学業の相談に、同じ目線まで降りてきて寄り添ってくれる。「キャンパスにいる限り、一人になることはないんだ」という心強さを、日々実感しています。

カシズ：私も信仰生活がまだ浅かったので、ここがどんな場所か全く知らずに入りました。普通の大学のように勉強だけしていればいいのかと思っていたのですが、実際に来てみて感じたのは、学生としての生活面が大切に考えられているということ。正直に言うと、入学当初の私の生活は「めちゃくちゃ」でした（笑）。でも、礼拝や清掃など、生活リズムから整えられる環境のおかげで、生活力も成長できていると思います。

神学科の学びと自己の成長

ー神学科での学びを通して、ご自身の中でどんな変化がありましたか？

増田：最大の成長は、自分の不足を知ることが

できたことです。僕は元々非常に傲慢な人間で、今もその側面はありますが、神学科での学びを通して、神様に不要な部分を「直接ヤスリで削られている」ような感覚があります。自分ができないという現実を突きつけられるたびに、聖霊の力で生かされていると痛感しています。

カシズ：私も、心の奥底に隠れていた傲慢さや弱さと向き合わされました。神様と距離が近づくほど、自分の醜い部分が見えてくる。でも、それを神様に頼ることで乗り越えていくという姿勢を学んでいます。

アキノ：僕は「話す力」が成長しました。神学科は、人の前で話す機会が本当に多くあります。元々とても苦手でしたが、経験を重ねることで「どう話せばみんな聞いてくれるか」ということを意識するようになりましたし、何より神様に用いていただく喜びを感じるようになりました。

宣教現場での体験

ー実習での体験について聞かせてください。

カシズ：フィリピンでの宣教実習や国内での文書伝道に行かせていただきましたが、そこで経験したのは、祈りながら歩むことで、神様との距離がぐっと縮まるということです。実際の宣教現場での実習は、「自分の力では何もできない。でも、だからこそイエス様が私の代わりに福音を届けてくださるんだ」と感じる体験でした。

増田：僕は今、牧会実習（東京実習プログラム）中ですが、教会の方々が抱える苦しみに対応する能力がないことを痛感しています。もちろん自分が解決するのではなく、イエス様が癒してくださるものですが、イエス様にどうやって引き渡せばいいのか分からず、力不足に直面することばかりです。でも講壇に立つ

て説教をする時、一人ひとりの表情を見ながら「この人変わったな」とか「少し心が開いたかな」という瞬間が見えると、本当に嬉しい。その喜びは1年間じっくり教会と向き合える実習だからこそ味わえるものです。

アキノ：僕も同じく牧会実習中なのですが、実習指導の先生からユニークな課題を与えられています。というのも、教会の運営や説教の準備などの実習項目に加えて、作曲が得意な僕の賜物を活かして、ヨハネの黙示録を章ごとに歌にするという活動が課題となっています。一人ひとりの賜物に向き合った実習プログラムに、大きなやりがいを感じています。

神学科の「ここがすごい」魅力

ー神学科ならではの！の魅力は何でしょう。

増田：「学校が心の居場所になる」という体験は、他ではなかなか得られない魅力だと思います。普通、学校は社会の一部、家庭に帰って心が休まる、という感覚が一般的ですね。でも、ここは自分を丸ごと受け入れてくれる「居場所」なんです。少人数制で教員との距離も近く、自分に合ったペースで学びを深められる環境は、他の大学にはない強みではないでしょうか。

カシズ：みんなの信仰が純粋で、とにかく「熱い」ところです。それに、神学の学びに留まらず、フィリピンなどの海外実習や、多様な伝道活動の機会が与えられていること。私の場合は、中等教育学校の中国から来ている生徒たちと交わるような経験も、かけがえない宝物です。

アキノ：やっぱり「あたたかさ」ですね。特に学生と教職員が小グループで聖書を読む神学科礼拝は特別な時間です。聖書を読んで、感じたことを分かち合う中で、いろんな人の体

験談を聞くと一気に距離が縮まりますし、自分では気づかなかった聖書に対する新たな視点を知る楽しさもあります。その時間が本当にあたたかいんです。

目指している伝道者像

ー皆さんは、どのような伝道者を目指しているのでしょうか。

アキノ：僕は「あたたかい伝道者」を目指しています。クリスチャンになった時、何より心惹かれたのがコミュニティの温かさでした。僕自身が持つ包容力や、人に優しく接するという賜物を活かして、神様をまだ知らない人たちをその温かい場所へ招き入れるような「橋渡しの存在」になりたいです。

カシズ：私は喜びを持って福音を伝える伝道者になりたいです。そのために、聞く姿勢を大切に、他人の本当のニーズに応えていきたい。そして、どんな状況にあっても自分の力で進むのではなく、常に神様に頼りつつ歩んでいく。そんな、神様と人ともに寄り添える伝道者を目指しています。

増田：「聖書が大好きだ」という軸を絶対に持ち続けたいです。その熱が冷めないように努力しつつ、僕が今体感している「伝道の楽しさ」を多くの人と共有したい。「あ、自分もできるんだ」と伝道に参加する人を一人でも増やせるような、いわば「伝道者を増やす伝道者」になりたいですね。

高校生へメッセージ

ー最後に、今、将来の進路や自分の生き方に迷っている人へ一言メッセージをお願いします。

アキノ：まず神様を第一にすること。その上で「自分がどう生きたいか」「何を一番大切にし

たいか」を自分に問いかけてほしいです。神学科に入れば、そうした人生の核心の部分についてじっくり考える時間があります。迷っているなら、まずは一歩飛び込んでみてほしいです。

増田：聖書は「生き方」を教えてください。私自身は、自分の傲慢さが削られるような、神学科での数年間の「調整期間」は、社会に出る前に必要な時間だと感じています。進路に迷ったら、妥協ではなく、ぜひ前進の一歩として神学科を選んでみてください。

カシズ：神学の道は、神様とより深く、より近く歩むための道です。学ぶ知識ももちろん大切ですが、神様との個人的な関係を築く中で、大きな祝福が必ず待っています。大変なこともあります。それが、それ以上に神様を近くに感じられる素晴らしい場所ですよ。

ー皆さんの力強い、希望に満ちた言葉を聞いて、本当に嬉しかったです。今日はありがとうございました。



MISSION FOR ALL

ミッションに向けて成長できる場所

—「本当のイエス様」を体験し、与えられた
ミッション・フィールドへ

津嘉山 美星南さん
TSUKAYAMA Mihona

2026/03：キリスト教学専攻 卒業

信仰の土台を得ることができた

—神学科を卒業後の現在の状況、また将来の目標についてお聞かせください。

津嘉山：卒業後は沖縄の大学に2年生として編入し、教員免許取得を目指して学んでいます。将来は三育の教員として働きたいと思っています。私自身三育の中学校で学んだのですが、先生方と関わった時間がとても楽しく、学校はいつも「帰りたい」と思える場所でした。今度は自分が教員として、三育の魅力を伝える存在になりたいです。

—神学科で2年間で過ごされて、どのような変化がありましたか？

津嘉山：神学科の生活は信仰のあり方を大きく変えてくれました。寮生活では基督教の背景を持たない友人たちと生活を共にしました。最初はクリスチャンとしての自分がどう思われるか不安で、壁を作ってしまった時期もありましたが、友人たちが聖書や神様のことを少しずつ知っていく姿を見て、「自分もみんなに神様のことを伝えられるようになりたい、そういう品性を持ちたい」と強く願うようになりました。また共に礼拝をささげ、同年代の仲間と信仰生活を分かち合い、祈り合えたことは何よりの宝物で、その絆は今もオンラインで続いています。もし神学科を経ずに今の大学へ進んでいたら、信仰者としてのこうした柔らかい関わり方を知らず、周囲との関係に過剰に緊張してしまっていたのではないかと思います。

—神学科で学んだ内容は、今の学びや将来にどのような意味を持っていますか？

津嘉山：以前の私は、聖書を学んでいても「なぜそう言えるのか」という確信が持てず、自分に都合の良いように解釈をしてしまうことがありました。しかし、神学科で聖書の歴史

的背景を深く学んだり、論理的に考えることを意識するようになったことで、イエス様の愛を自信を持って伝えられるようになりました。「伝え方」を学んだことも財産になっています。説教や聖書研究をする時に「相手と自分との間に橋を架ける」イメージを持つということを学んだことは、今も誰かにイエス様のことを証する際の指針になっています。また教員を目指す上では「SDA教育行政学」というクラスで、クリスチャンとして神様との結びつきをどう授業に反映させるかを実践的に学べたことも、大きな収穫でした。こういった学びは将来、教壇に立つ上で必ず活かせると感じています。

—神学科での生活で、特に印象に残っている言葉やエピソードはありますか？

津嘉山：入学当時は信仰に波があって、再臨を楽しみに思う時もあれば、怖いなど感じることもありました。そんな時、寮監の先生にその気持ちを伝えると「イエス様が戻ってくるの、楽しみじゃない？」とおっしゃって、その言葉に、ハッとさせられました。「ああ、確かに、イエス様が戻ってきてくださることは、楽しみにすることなんだ」と。それ以来不安が消え、イエス様との再会を待ち望む前向きな思いで生活できるようになりました。

—信仰者として進路を悩んでいる方へメッセージをお願いします。

津嘉山：私は神学科で信仰の土台を得ることができました。一番の経験は初めて「本当のイエス様の姿」を知ることができたことです。この体験があったからこそ、自分自身を他人と比較して落ち込む日々から抜け出し、イエス様を見つめる生活が本当に素敵だと感じられるようになりました。今の大学生活も教会生活もとても充実しています。是非、神学科で学んで欲しいと思います。

MISSION FOR ALL

ミッションフィールドは世界

—与えられたミッションを意識することで、留学先や宣教地としての世界とつながる。

花田 湧貴さん
HANADA Yuki

2025/03：キリスト教学専攻 卒業
2025/08：米国 Andrews 大学 留学

神様が示してくださった使命

—現在の状況について教えてください。

花田：今はアメリカのアンドリュース大学で神学を学んでいます。2025年8月の終わりから留学生活が始まり、今ちょうど（2026年5月）2学期が終わるところです。将来的には大学院課程への進学も考えています。

学生生活は毎日かなり忙しいですが、とても充実しています。学部の授業は課題量が多く、クイズやレポートに追われる毎日で「課題をこなすために生活している」という感じもあります。特に旧約聖書の学びが印象的で、モーセ五書や預言書を深く学んだり、毎朝8時からヘブライ語を学んだりしています。神学科はファミリーのようなあたたかい雰囲気、1年間を通して共に学ぶ中で、かなり絆も深まりました。日本からの留学生は珍しいこともあり、多くの人が積極的に声をかけてくれました。聖書研究グループもたくさんあり、今度から自分もリーダーを任される予定です。不安もありますが、挑戦してみたいと思っています。

また、バスケットボールの学内リーグにも参加しており、神学科生の仲間と「Holy Airball」というチームでプレーしています。なかなか勝てませんが「神学生だからファウルはしないようにしよう」と声を掛け合いながら、楽しくプレーしています（笑）。

—三育学院での学びは現在にどのようにつながっていますか。

花田：三育学院での学びで一番大きかったのは「イエスさまと日々向き合う環境」があったことです。進路の選択肢がある中で学んでいたため、自分の将来について悩むことも多かったのですが、その分イエスさまとの関係が深まったと思います。高校時代から「海

外の SDA 大学で学びたい」という思いがあり、留学できる神学科の2年コースを選びました。ただ、実際にはカレッジに入ってからの方が進路に悩みました。本当に留学するのか、このまま神学の道に進むのか、何度も考えました。その中で支えになったのが、先生方や仲間の存在でした。神学科の先生方は全員留学経験者で、実際の体験を聞いたことは大きかったです。また、先生との距離が近く、仲間とも深い話ができる環境がありました。先輩に悩みを相談して、泣いてしまったこともあります。でも、そういう弱さも含めて受け止めてくれる人たちがいたことは、自分にとって大きな支えでした。

また、留学準備という面でも、三育で学んだことは大きな助けになっています。単位を持って編入できたことに加え、聖書や教理の基礎を日本語でしっかり学べたことは、今の学びにつながっています。

—進路に悩んでいる人へのメッセージをお願いします。

花田：自分が一番悩んだのは「自分には足りない部分が多い」と感じていたことでした。牧師のように人に仕える仕事に対して「自分には愛が足りないのではないか」「コミュニケーション力が足りないのではないか」と悩んでいました。また、将来が見えないことへの不安もありました。でも、そういう時期だったからこそ、イエスさまとの距離が近づいたように思います。

悩んでいる時は自分だけのような気がしてしまいましたが、決してそんなことはありません。一人で抱え込まず、先生や友人、家族に相談したり、祈ってもらったりしてほしいと思います。支えてくれる人は、きっと周りにはいます。

MISSION FOR ALL

キャンパスで培う伝道スピリット

—キャンパスにいるときから始まる「福音を伝える経験」が、伝道者として生きる土台になる。

松下 晃大さん
MATSUSHITA Kodai

2018/03：神学専攻 卒業

聖書とじっくり向き合う時を！

—牧師としてこれまでどのような働きをされてきましたか？

松下：現在は、教会牧師として礼拝説教や教会員のサポートに携わるほか、三育学院中等教育学校のチャプレンとして、聖書の授業なども担当しています。

これまでも教会での牧会だけでなく、さまざまな働きを経験させていただきました。保育園の園長として子どもたちと遊んだり、聖書のお話をしたり、青年教会の牧師としてコロナ禍に途切れていた活動や交わりを少しずつ再開していったことも印象に残っています。また、教団伝道局のスタッフとして、イベントなどを通して多くの青年たちと関わる機会もありました。

牧師の働きの中で人が変えられていく姿を間近で見られたことは忘れられない経験です。最初は集会の内容もよくわからないまま参加していた方が聖書研究を続ける中で、ある時突然「全部つながった」と感じる瞬間があったそうなんです。その後はそれまでとは別人のように、自分からイエス・キリストのことを語ったり、周りの人に証しをするようになっていきました。そういう変化を、一人だけでなく何人もの人に見せてもらった時に、神様の働きを感じました。

—神学科に進んだきっかけは何でしたか？

松下：私は最初、三育学院短大英語科に在学していたのですが、その頃は将来について本当に何も分かりませんでした。そんな時に先生方や先輩、同級生たちが一緒に祈ってくれて「神学科に進んでみたらどうか」と勧められました。もともと「もう少しこのキャンパスで学びたい」という思いもありましたし、神学科の先輩たちを見て「楽しそうだな」と

感じていたこともあって、神学科に進むことを決めました。

ただ神学科に入った頃は、授業の内容も全然わかりませんでした。でも、ダニエル書の授業の課題で「2300の夕と朝の預言」について調べた時に、聖書の面白さに気づく経験がありました。最初は本当に理解できなくて、いろいろな先輩に聞きながら必死に調べました。その中でバラバラだった聖書の言葉が一つにつながった瞬間があり「聖書って面白い！」と初めて感じました。そこから、自分でも聖書をもっと学びたいと思うようになりました。

—神学科で学んで良かった点は何ですか？

松下：授業だけでなく、先輩や先生方に助けてもらいながら説教を作ったり、人と聖書研究をしたり、実践の中で学べたことは自分にとって大事な経験でした。聖書に「わからないながらも向き合う」時間を持てたことが、とても良かったと感じています。また、牧会実習を通して、実際の牧師の働きを具体的に知れたことも大きかったです。牧師になりたいと初めて感じたのも、実習の時でした。

—進路に悩んでいる人へメッセージをお願いします。

松下：「とりあえず神学科に行こう！」と言いたいところですが（笑）、もちろん色々な状況の人がいると思います。ただ、もし信仰を持っていて進路に迷っているなら、ぜひ一度、自分で聖書とじっくり向き合う時間を持ってみてほしいです。自分も最初はわからないことだらけでした。でも、向き合い続ける中で、「聖書って面白い」と思える瞬間がありました。

神学科での学びは、自分自身の信仰を見つめなおす時間にもなると思います。

MISSION FOR ALL

神様の愛の温かさを介護の現場へ

—「大変だけど楽しそう」

神様から「この働きにつきなさい」と言っていた。

下村 恵愛さん
SHIMOMURA Ema

2026/03：キリスト教学専攻 卒業

イエス様に背負っていただくこと

—現在のお仕事について教えてくださいか？

下村：3月にキリスト教学専攻を卒業して、現在は特別養護老人ホームで介護職員として働いています。利用者様一人ひとりと向き合い、生活のサポートをさせていただく毎日です。
—介護の道に進もうと思ったきっかけを教えてください。

下村：きっかけは中学生の頃、図書館で読んだ介護の仕事に関する漫画でした。利用者様との日常がリアルに、かつ温かく描かれており「大変そうだけど楽しそう」と直感的に惹かれました。もともとお年寄りとお話するのが好きで、自分に合っていると感じたことが、この道を選んだ原点です。その後神学科で学び、将来について考えていく中で、神様から「この働きにつきなさい」と言っていたという思いが与えられました。就職への道も備えられ、その導きを信頼することにしました。

—神学科での経験の中で、今の働きに役立っていることはありますか？

下村：寮生活で培った「気を張るわけではないけれど、いつも相手を気にかける」という姿勢は、働き始めてからも活かされています。一人のワーカーが複数の利用者様のケアをするのですが、その時に必要になる色々な問題を察知する感覚は、寮で養われました。また、ボランティア実習や病院での実習の中で、何もすることができず、謙虚にさせられるような経験もありました。その体験のおかげで、「何かしてあげる」のではなく、仕える者として働くということを考えるようになったと思います。この気持ちは、これから仕事に慣れていってからも忘れたくないと思って

います。

—神学科の学びの中で、印象に残っていることはありますか？

下村：先生方からいただいた言葉が、今も心に残っています。「何になっても、何にならなくてもいいけど、神様の道だけは捨てずに歩みなさい」という言葉に励まされましたし「信仰というのは、イエス様に背負っていただくこと」という教えは、今も私の心を支えています。最初のうちは自分と神様が手を繋いでお互い引っ張り合うようなイメージでしたが、働き始めてからは、仕事の大変さの中でも神様の背中から下りたくないと思っています。

—信仰が深められた時間だったということですね。

下村：神学科は「神様と交わる時間を取っているよ」と言ってもらえる、恵まれた環境でした。その時間があつたからこそ、神様の愛の温かさを知って、そこにとどまり続けたいと思うことができています。仕事の時もその愛を感じ、家に帰ってからも感じられる。戻ることのできる場所ができましたし、それを言葉と行動で他の人に伝えたいと思うようになりました。

—最後に、進路を考えている方へメッセージをお願いします。

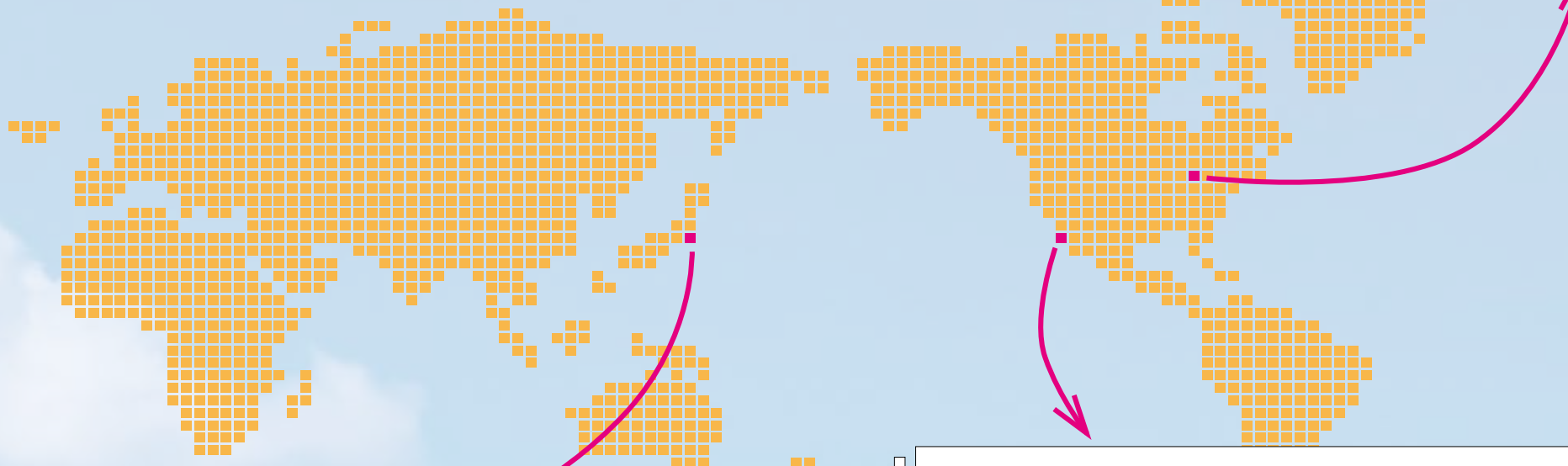
下村：聖書は、確かに一人でも学ぼうと思えば学べるものです。けれど、信仰は知識だけではないし、自分一人だけで完結するものでもないということを伝えたいです。聖書にも「一人よりも二人が良い」という言葉がありますが、学ぶため、信仰を深めるためのサポートがあつて、祈り合い励まし合える仲間がいる。その上で一人で神様と向き合うことができる。そういう場所を求めておられるなら、ぜひ神学科を目指していただきたいです。

MISSION FOR ALL 世界がキャンパス

米国アドベンチスト大学との協定

現在、米国のアンドリュース大学（ミシガン州）とラシエラ大学（カリフォルニア州）の2大学と協定を結んでいます。この協定により、本校で2年間学んだ後に各大学へ編入学した場合、単位互換、奨学金を受けることができます。いずれも TOFEL などの英語の試験で大学が決める基準を満たす必要があります。

※大学の特色、学部の詳細は、各大学のホームページをご覧ください。



Japan Missionary College
<https://saniku.ac.jp/theology/>

1874 年 Battle Creek College として設立されたセブンスデー・アドベンチスト教会の旗艦大学。神学院（セミナリー）を併設。
留学生が多く、U.S. News and World Report の「キャンパス内の多様性」ランキングでは、スタンフォード大学、ジョンズ・ホプキンス大学と並んで全米トップのスコア。

主な専攻	Accounting, Animal Science, Architecture, Art, Aviation, Biochemistry, Biology, Business Administration, Computer Science, Cybersecurity, Data Science, Engineering, English, Finance, Graphic Design, Mathematics, Medical Laboratory Science, Music Education, Nursing, Psychology, Religion, Theology 他
授業料	約 35,000 ドル 留学生減免制度：年間授業料から 14,000 ドル減免



<https://www.andrews.edu/>

1922 年 La Sierra Academy として設立される。理系学生の内 8 割が近郊の Loma Linda University を始めとする医療・健康福祉系教育機関へ進学する。また、地域貢献プログラム（Service-Learning Program）や社会起業プログラムは米国でも高く評価され、連邦公社 Corporation for National and Community Service や Enactus から表彰を受けている。

主な専攻	Archaeology, Art, Biomedical Science, Business, Chemistry, Computer Science, Criminal Justice, Digital Media, English, Clinical Health Studies, Public Health, Nutrition, History, Marketing, Music, Neuroscience, Philosophy, Psychology 他
授業料	約 38,000 ドル 提携校減免制度：年間授業料から 50% 減免



<https://lasierra.edu/>

OB / OG's Voice 卒業生メッセージ



本田 直希さん
HONDA Naoki

2022/03 : 神学専攻 卒業

現在、米国ミシガン州のアンドリュース大学で組織経営を学んでいます。

三育学院で神学を学んだ時、自身の信仰を見つめ直し、神様が与えてくださった福音を周囲とどう共有するかを真剣に模索する機会がありました。その結果、教育の場で多くの人々と福音を共に味わう働きをしたいと願うようになり、今の学びにつながっています。

将来は、この経験を生かして日本の三育の学校に貢献したいと考えています。



安藤 薫織さん
ANDO Kaori

2025/03 : 神学専攻 卒業

三育学院カレッジでは、学年を超えて共に学ぶ機会が多く、釈義の授業でギリシャ語・ヘブライ語の基礎に触れるなど、深い学びをすることができました。

少人数制のため、一人ひとりの理解度や興味に合わせた指導や研究機会が豊富です。私は福祉や病院でのチャプレン実習を通じて貴重な経験を得ることができ、先生方も進路や学習面で親身にサポートしてくださいました。

三育で培った「人と神を愛する姿勢」と「神様と共に問題に向き合う力」を糧に、愛し愛される人として成長していきたいです。



西村 翔さん
NISHIMURA Sho

2020/03 : 神学専攻 卒業

三育学院カレッジでの4年間は、牧師としての働きに備えるうえで非常に有意義な時間でした。

ギリシャ語の学びは説教準備の土台となり、授業ノートが聖書研究の参考資料になることもあります。授業外では近隣教会で礼拝奉仕に携わり、学内伝道も経験することで伝道者としてのスキルを磨くことができました。こうした学びの機会に恵まれたことを心から感謝しています。

現在は4年間の牧師経験を経て、アンドリュース大学大学院で学んでいます。

2 Majors 2つの専攻

神学専攻
4年
コース

牧師・伝道師を目指す方をはじめとした、アドベンチスト信仰を理論と実践を通して学びたい方のためのコースです。4年間を通して神学4分野（聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学）を網羅するアプローチにより、アドベンチスト神学の基礎を身につけ、様々な実習を通して伝道者としての実践力を養います。

コースの修了者は、アドベンチストの認証評価機構（Adventist Accrediting Association）より大学課程修了者に与えられるBA（Bachelor of Arts 文系学士）が授与されます。また、文部科学大臣告示による「高度専門士（キリスト教教養専門課程）」の称号が付与されます。本称号を有する者は大学院への入学について、各大学院における個別の入学資格審査を経て、受験資格が認められる場合があります。

キリスト教学
専攻
2年
コース

キリスト教学専攻では、アドベンチスト神学の基礎を学び、信仰の土台を形成しつつ、関連機関での実習を経て、将来様々な分野で活躍するための準備をすることができます。卒業生は、アドベンチストの認証評価機構よりAA（Associate of Arts 文系準学士）として認定されます。

また、短期大学卒業者と同等以上の学力のある者として、文部科学大臣告示による称号である「専門士（キリスト教教養専門課程）」が付与され、大学の編入学の資格を得ることができます。課程修了後、国内大学や海外のアドベンチスト大学への編入、系列機関への就職などの選択肢があります。

特に米国のアンドリュース大学とラシエラ大学とは協定を結んでおり、単位互換や授業料の減免などの制度があります。

Curriculum カリキュラム

三育学院カレッジでは、学生がクリスチャンとしてのアイデンティティを確立し、神から与えられたミッションを自覚することを目指しています。

そして、聖書の預言に示された三天使のメッセージ（ヨハネの黙示録14章）を指針として、教会と社会に貢献できる人物として成長することを期待しています。

その目的を達成するため、本校で提供されるすべての科目は、霊・知・体の3つの資質を養成するように構成されています。

神学専攻【4年コース】

キリスト教学専攻【2年コース】

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
信仰と学問の出会い 基礎教養科目	聖書と神学の世界へ 神学基礎科目	実践を通しての学び 神学科目と実習	福音を伝える者として 卒業研究



Tokyo 実習プログラム

2026 年度より、神学科 3 年次を対象とした新しい牧会実習プログラムがスタートしました。

これまで年末に数週間行われていた牧会実習を発展させ、1 年間を通して東京を拠点に、より実践的・継続的に学ぶプログラムへと刷新されました。

実習では、拠点教会での牧会実習や開拓伝道実習を行う「通年実習」に加え、チャプレン実習、伝道局実習、外国人伝道実習、地域伝道実習など、多様な「領域別実習」に取り組みます。学生は、世田谷代田の施設「アイザックハウス」に滞在しながら、東京校舎での対面授業やオンライン授業を受けつつ、実習担当教員の指導のもとで学びを深めます。

教会や地域の現場で実際に人と関わりながら、牧会者・伝道者としての働きを実践的に学んでいくプログラムです。



三育学院カレッジ神学科で神学を学ぶ。それは、単に聖書の知識を蓄え、神学理論を習得するだけではありません。三育の神学教育の核心は、神と人ともに仕える者としての人格を形成し、現代社会の多様な課題に応えることのできる実践力を養うことにあります。この人格と実践力を、教室での学びと結びつけながら、生きた体験を通して育むのが「全人教育 HE プログラム」です。

「HE」という名称には、二つの意味が込められています。

Holistic Education（全人教育）：これは、人間の持つ霊性、知性、身体、社会性のあらゆる側面が、調和をもって発達することを目指す三育教育の中心となる概念です。

HE is our Pattern.（キリストは私たちの模範）：私たちの学びと成長の究極のゴールは、他者のためにその生涯を献げられたイエス・キリスト



全人教育 HE プログラム

生きた体験を通して、神と人ともに仕える力を育む

です。HE プログラムは、キリストが示された「仕えるリーダーシップ」を身につけていくための機会です。

HE プログラムの最大の特徴は、学生の主体性を育むポイントシステムです。三つの領域で提供される多彩なプログラムの中から、自らの興味や課題意識に沿った活動を選び、参加することができます。礼拝や祈祷会などの信仰を養うためのプログラム（スピリチュアル領域）、地域のニーズに応える施設訪問やがんカフェなどの活動（コミュニティ領域）、そして大多喜の豊かな自然を通して創造主の御業に直接触れることのできるプログラム（ネイチャー領域）など、自分の関心に応じた学びをデザインすることが可能です。

神学科の学生にとって、このプログラムは将来の働きに直結する貴重な訓練の場となります。牧師や伝道者を目指す人はもちろん、キリスト教の精神を活かして教育、福祉、国際協力など、さまざまな分野で社会に貢献したいと願う人にとっても、ここで培われる共感力、協働力、そして実践力は、かけがえのない財産となります。

机上の学びだけでは、人の心を動かすことはできません。生きた信仰と実践力を兼ね備えた、神と人ともに愛される働き人としての一步を、三育学院カレッジの HE プログラムから踏み出してください。

正純先生の授業紹介

コミュニケーション論

このクラスでは、キリスト教の宣教と牧会におけるコミュニケーションの理論と実践を学びます。聖書学、宣教学、社会科学の視点からコミュニケーションを多角的に理解し、言葉や関係性を通してどのように福音を伝え、人々に寄り添うかを考え、メディアの活用方法やコミュニケーションにおける危機管理などにも注目します。福音を的確に伝えるための基本的な理論と、実際の宣教・牧会に役立つ実践的なスキルの習得を目指すクラスです。



校長 / 学科長 / 教授
杉 正純
SUGI Masazumi
学 位：教育学博士
専門分野：実践神学
担当科目：海外宣教実習
コミュニケーション論
牧会社会学 など

助教
山地 悟
YAMAJI Satoru
学 位：神学修士
専門分野：新約聖書
担当科目：ギリシャ語
ヨハネの黙示録
新約釈義 など



ミッション探しの旅を導く神学の学び！

※ 正規生にならなくても神学が学べる「科目履修生制度」「信徒リーダー養成コース（公開講座）」なども用意されています。



学科長補佐 / 准教授
長谷川 徹
HASEGAWA Toru
学 位：神学修士
専門分野：組織神学
担当科目：神学諸論
キリスト教倫理学
アドベンチストの信仰 など

助手
田淵 蒔
TABUCHI Fuki
学 位：作業療法修士
専門分野：健康教育・福祉
担当科目：スポーツ科学
ファシリテーション
機関実習 など



徹先生の授業紹介

アドベンチストの信仰Ⅰ・Ⅱ

私たちは聖書のメッセージを誰かに伝えようとする時「救い」「信仰」「罪」などの基本概念の理解の重要性に気づかされます。一つひとつの教理は他の教理と有機的につながっているのです、全体を体系立てて学ぶ必要があります。アドベンチストの信仰Ⅰ・Ⅱでは、神・救い・教会・終末などの教理項目を、アドベンチストの神学体系から学びます。アドベンチスト神学の緻密さ・奥深さに驚き、信仰者として、福音を伝える者として成長することのできるクラスです。

悟先生の授業紹介

新約釈義

福音書からヘブライ書までの背景や文脈を学びながら、聖書のメッセージを深く読み取る力を養います。聖霊の助けを求めつつ、み言葉に表された神様の御心を受け取り、自らの信仰や日々の生活に結びつける方法を実践的に探っていきます。

ヨハネの黙示録

アドベンチスト教会の使命の土台となる黙示録の預言を学ぶクラスです。難解と思われがちなの書に示されたイエス様の愛と、終末時代を生きる私たちに託された福音のメッセージと一緒に見出していきます。

蒔先生の授業紹介

機関実習

セブンスデー・アドベンチスト教会には、福祉や教育など様々な事業を担う関連機関が全国・海外にあります。そのネットワークを活かした学びをすることができなのが機関実習です。各機関の現場で実際の働きを体験しながら、自分の適性や課題を発見し、社会人としての心構えを身につけます。使命感を持つ働き手を求めている機関と、証し人として生きたいと願う学生をつなぐ機会でもあります。ミッションを生きる社会人となる第一歩が機関実習です。



Tuition Fees / Scholarships
学納金 / 奨学金

費用	入学手続時納入金	後期納入金	初年度合計納付金	2年目前期納入金
入学金	150,000 円	—	150,000 円	—
授業料	200,000 円	200,000 円	400,000 円	200,000 円
施設設備費	50,000 円	50,000 円	100,000 円	50,000 円
教育充実費	50,000 円	50,000 円	100,000 円	50,000 円
入寮費	50,000 円	—	50,000 円	—
寮費	306,000 円	306,000 円	612,000 円	306,000 円
生活費込み合計	806,000 円	606,000 円	1,412,000 円	606,000 円

※寮費は電気料金・ガス料金・水道料金・インターネット料金・1日3食の食費込みの料金となります。

※通学生の方は、入寮費及び寮費はかかりません。

《参考（学費・生活費の平均額）》

学費（神・仏系私立大学）：1,144,095 円（出典：文部科学省 私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査）

生活費：677,400 円（アパート居住 1,072,000 円）（出典：日本学生支援機構 令和4年度学生生活調査結果）

長老会奨学金（全専攻対象）《条件付き給付型》

資格	卒業後、牧会・伝道に従事する意思が明確な者
支給額	基準額 300,000 円 / 学期 各学期の成績に基づき、所定の支給率に応じて支給
備考	在学中、面談等によって定期的に伝道者としての志を表明すること。 繰り返し受給可。

神学科奨学金（若干名）《条件付き給付型》

資格	学業成績、人物ともに優秀で学資の支弁の困難な者
支給額	第一種：年間 21 万円～50 万円（3～4 年次） 第二種：年間 10 万円～20 万円（1～2 年次）
備考	（第一種奨学金受給者のみ） 卒業後直ちにセブンスデー・アドベンチスト教団・機関に支給年数に対し 2 倍の期間 奉職する者には返済義務なし。

※他にも「勤労学生奨学金」をはじめ、各種の奨学金が充実しています。

詳細は学校ホームページ「入学を希望される方へ」をご覧ください。



<https://saniku.ac.jp/theology/admissions/#scholarship>

Saniku Gakuin History 三育学院の歴史

- 1896（明治 29） セブンスデー・アドベンチストの宣教開始。ウィリアム・C・グレンジャー宣教師来日。2年後、東京麻布に「芝和英聖書学校」開校。
- 1914（大正 3） 「日本伝道学校」設立。（東京都豊多摩郡杉並村字天沼）
- 1919（大正 8） 東京荻窪に「天沼学院」開校。小学、中学、高等部を併設。
- 1926（大正 15） 千葉県袖ヶ浦市に男子部移転、「日本三育学院」と称する。天沼学院は「日本三育女学院」と改称。
- 1943（昭和 18） キリスト教信仰のゆえに治安維持法違反の容疑で、特高警察により院長以下主要教員が検挙・連行。女学院ともに閉鎖。
- 1947（昭和 22） 日本三育学院再開。翌年、「財団法人日本三育学院」に改組し、「日本三育学院神学校」と称する。中学校・高等学校併設、1950（昭和 25）年に小学校併設。東京衛生病院看護婦学校再開。
- 1951（昭和 26） 日本三育学院神学校は「学校法人三育学院」に変更。
- 1953（昭和 28） 「日本三育学院カレッジ」と改称。神学科、伝道科、教育学科、セクレタリー科を設置。
- 1971（昭和 46） 「三育学院短期大学」を開設し、英語学科を設置。
- 1974（昭和 49） 「東京衛生病院看護学院」をカレッジに移管し、「三育学院カレッジ看護学科」と名称変更。
- 1976（昭和 51） 専修学校発足に伴い、カレッジを「専門学校三育学院カレッジ」と改称。キリスト教学科（のち神学科に改称）、教育学科（のちキリスト教教育学科に改称）、医療専門課程看護学科の三科を設置。
- 1977（昭和 52） 中学校・高等学校は広島に移転、「広島三育学院」となる。
- 1978（昭和 53） 専門学校・短期大学は千葉県袖ヶ浦市より千葉県夷隅郡大多喜町に移転。小学校は千葉縣市原市に移転。「光風台三育小学校」となる。
- 1987（昭和 62） カレッジをキリスト教学科とキリスト教教育学科に改編、看護学科は短期大学看護学科へ改組転換。
- 2001（平成 13） 大河平記念校舎竣工。
- 2008（平成 20） 三育学院大学開学、看護学部看護学科を設置。
- 2015（平成 27） カレッジを改組。キリスト教教育学科を神学科に併合。
- 2018（平成 30） 神学科神学専攻が、課程修了後「高度専門士」と称することができる課程と認定される。

Message 校長メッセージ

「行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。」
マタイによる福音書 10 章 7 節

アドベンチスト教会は聖書の重要な教えである、キリストの再臨を待望する教会として、三天使の使命が全世界に宣べ伝えられることを目的として活動をしています。

三育学院カレッジでは、この使命を受け、卒業後、教会の働きを担うべく牧師・教師をはじめとする様々な活動に従事したいと志す学生が、聖書の学びを中心とした専門知識を習得し、教会のリーダーとなるための教育を受けています。

激変する社会と対峙しつつ、世の中で助けを求めている人々にキリストの救いを伝える使命感を持った学生を求めています。神学は、キリストの救いを日々実感し、賛美する祝福に満ちた学びです。このような素晴らしい学びは他にはありません。毎日聖書を学び、福音に接する中で、その広さと深さを追求できるのです。

そして、神様の召しに応え、福音を世界のすみずみまで伝えるべく、伝道の働きを担う学生を、私たちは心より歓迎いたします。

校長
杉 正純
SUGI Masazumi

アンドリュース大学神学部 卒業
アンドリュース大学院 神学修士終了
アンドリュース大学院 教育学博士終了

Diploma Policy ディプロマ・ポリシー

I . キリスト者としての霊性 (Devotional Lifestyle)

1. キリストとの関係に基づく霊性を、個人的生活および教会生活において育み、確立していること
2. アドベンチスト教会が推奨する全人的生活習慣の根拠を理解し、個人的に実践していること
3. 対人関係や社会集団において成熟したキリスト者の品性を表していること

II . アドベンチストとしての聖書理解 (Adventist Perspective)

1. 「信仰の概要」に表されているキリスト中心の教理理解に基づいたアドベンチストとしてのアイデンティティを確立していること
2. 聖書正典に基づいた神学の研究方法を習得し、永遠の福音であるアドベンチストメッセージの神学的基礎を理解していること
3. 真理理解の漸進的性質を踏まえ、靈感の書物から導き出される真理を能動的かつ継続的に吟味し、探究し続ける態度を有していること

III . 宣教者としての実践力 (Missionary Leadership)

1. 救霊の熱意に溢れ、キリストに遣わされる宣教者として献身していること
2. 救霊方法の基礎的理解と実践の経験を持ち、効果的なコミュニケーションスキルを身につけていること
3. 伝道活動および学内外の諸活動を通して自らの賜物を見出し、キリストを模範とするリーダーシップを発揮することが出来ること

Admission Policy アドミッション・ポリシー

本学科は、セブンスデー・アドベンチスト教団の神学教育機関として、同教団の牧師、伝道師、教師を養成するだけでなく、聖書の知識とアドベンチスト信仰を身につけ、教会の使命を担い、社会に貢献する信徒を養成することを目的としています。

この目的のために以下の資質を備える学生を求めます。

1. 聖書を学び、アドベンチスト信仰を深めることを求める人
2. アドベンチストの使命である福音宣教を志す人
3. 聖書と向き合い自らを省み、謙虚に学ぶ姿勢を持つ人
4. 神と隣人に仕える奉仕の姿勢を持つ人
5. 将来の働きに備えるために、聖書のみならず幅広い教養を身につける意欲を持つ人
6. アドベンチストのライフスタイルを受け入れ実践する心構えのある人

2027 年度入学試験情報

時期	種別	出願期間	試験日	試験会場	合格発表	手続締切日
8 月	後期 *	2026 7/20 (月)～ 7/27 (月)	2026 8/2 (日)	大多喜	2026 8/7 (金)	2026 9/4 (金)
11 月	指定校推薦・ 公募制推薦・ 留学生	11/9 (月)～ 11/16 (月)	11/22 (日)	大多喜・ 広島	12/1 (火)	2027 1/29 (金)
12 月	A 期	11/30 (月)～ 12/7 (月)	12/13 (日)	大多喜	12/18 (金)	1/29 (金)
2 月	B 期	2027 2/15 (月)～ 2/22 (月)	2027 2/28 (日)	大多喜	2027 3/5 (金)	3/26 (金)
3 月	C 期	3/1 (月)～ 3/8 (月)	3/14 (日)	大多喜	3/18 (木)	3/26 (金)

* 後期からの入学を希望する方を対象とした入試種別です。

学校見学・入試等に関するお問合せ

三育学院カレッジ 入試広報課

TEL : 0470-84-0111 MAIL : nyuushi@saniku.ac.jp

〒 298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500

※随時見学を受け付けております。

MISSION を携えて

未来を切り拓こう。

「確かに未来はある あなたの希望が断たれることはない。」箴言 23 章 18 節

あなたとミッションをつなぎ、世界に送り出す学校



専門学校三育学院カレッジ

神学科 神学専攻 / キリスト教学専攻 / キリスト教教育専攻

〒 298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500

Tel 0470-84-0111 (代)



web



map



Instagram



facebook



X



セブンスデー・アドベンチスト教会 関連法人・機関等 <https://adventist.jp/>

学校法人三育学院

幼稚園

札幌・横浜・広島・鹿児島

小学校

函館・日立・市原・東京・横浜・

広島・三原・鹿児島・沖縄

中学校

広島三育学院中学校

沖縄三育中学校

中等教育学校

三育学院中等教育学校

高等学校

広島三育学院高等学校

大学

三育学院大学看護学部

大学院看護学研究科

海外の系列校

北米・欧州・アジアを中心に

116 の高等教育（大学・大学院）と

2,793 の中等教育（中学・高校）

医療

東京衛生アドベンチスト病院

神戸アドベンチスト病院

アドベンチストメディカルセンター

福祉施設

特別養護老人ホームシャローム

特別養護老人ホームシャローム東久留米

ほか、高齢者福祉施設・

障害者福祉施設など 20 ヶ所

国際援助機構

ADRA Japan

健康食品事業

三育フーズ株式会社

メディア出版事業

アドベンチスト・メディアセンター

福音社